

⚠ 注 意

組立て上の注意

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「本体の組立て方」に従って正しく組立ててください。
- 組立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組立てる時に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てる時に、部品の端部などでけがをしたり、指をはさまないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室まで連絡してください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行なってください。また、床面がキズつかないようにダンボールなどを敷いて行なってください。
- 電動ドライバーなどの使用はお止めください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

使用上の注意

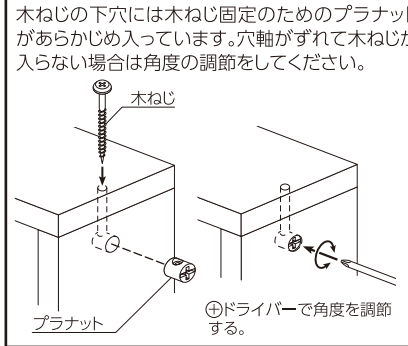
- 本製品は屋内専用です。屋外での使用はお止めください。また本来の用途以外での使用はお止めください。
- 各部がしっかり組立てられていることを確認した上で使用してください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど火気の側での使用はお止めください。
- 高温多湿の場所での使用はお止めください。
- 直射日光や熱機器などの熱が当たる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面で使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんの上や畳などやわらかい床では荷重でしずんだり、設置する場所によってはへこみや跡がつくことがあります。そのような場合は、敷物や当て板を敷いて使用してください。
- クッションフロアー材（塩化ビニル樹脂）の上で使用する場合、環境（長時間同じ場所での固定・紫外線の多くあたる場所・温度の高い場所など）によっては、色移り（移行）現象によりクッションフロアー材の表面が変色する場合があります。
- 壁などとの接触を避け、少し離して（約10cm程度）使用してください。密着していると色移りして変色したり壁材が浮いてはがれたりする場合があります。
- ものをのせる時は、荷重が一点に集中しないように均等にのせてください。また、耐荷重を超えるものをのせないでください。
- 加熱したなべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなどを直接置かないでください。
- AV機器・パソコン類などの家電製品を設置する場合は、その取扱説明書に従って周囲に充分な隙間を確保して通気を良くしてください。家電製品の故障や火災の原因となります。
- 上段に重いものをのせないでください。不安定になり転倒の原因になります。
- 本体にのぼったり、よりかかったり・座ったり・踏み台としての使用はお止めください。また、本体に手をついたり、つかまって立ち上がったたりしないでください。特に幼児や子供には注意してください。
- 本体を移動する時は、引きずらないでください。床面をキズつける原因になります。
- 本体を移動する時は、かけてあるもの、置いてあるものを全ておろしてからしっかり持って移動してください。
- 本製品に使用している材料は、ホルムアルデヒド放散量の少ないものの使用に努めていますが、においが気になる場合は、部屋の換気をしたり、風通しの良いところに置いてください。
- 使用中に、破損・変形・異音が生じた場合はただちに使用をお止めください。

お手入れの方法

- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどい時は、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固くしぼったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。表面のはがれや変色の原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。
- 定期的に各部のゆるみを点検してください。

プラナットの調節方法

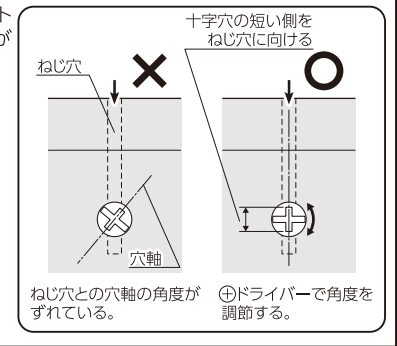
木ねじの下穴には木ねじ固定のためのプラナットがあらかじめ入っています。穴軸がずれて木ねじが入らない場合は角度の調節をしてください。



木ねじ

プラナット

⊕ドライバーで角度を調節する。



十字穴の短い側を
ねじ穴に向ける

ねじ穴

穴軸

ねじ穴との穴軸の角度が
ずれている。

⊕ドライバーで角度を
調節する。

 **株式会社ドウシシャ**

お客様相談室

〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10

0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※商品名・品番をご確認の上、お電話ください。
※電話の際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて
利用させていただきますので、予めご了承ください。

ドウシシャ

検索

MADE IN CHINA

◎品質には万全を期しておりますが、万が一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに弊社お客様相談室へご連絡ください。
◎本製品及び梱包材を廃棄する時は、お住まいの自治体の取決めた処理方法に従ってください。
◎天災などの不可抗力やお客様ご自身での修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。

Lot No,

DOSHISHA

引き出し付きハンガーラック ビスカーナ40W

取扱説明書

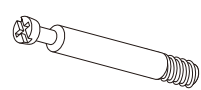
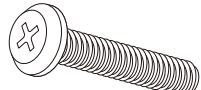
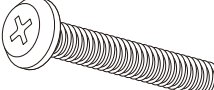
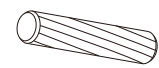
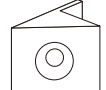
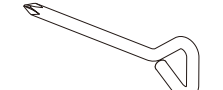
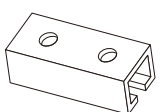
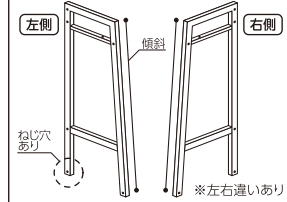
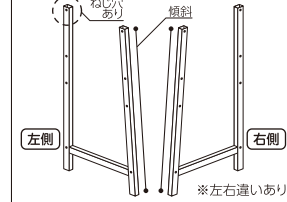
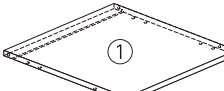
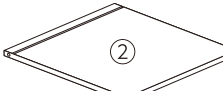
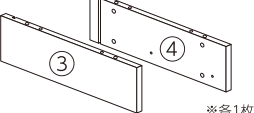
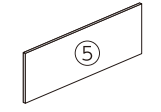
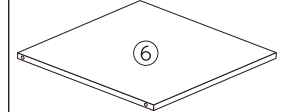
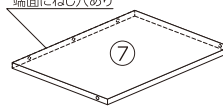
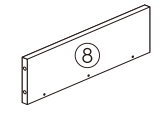
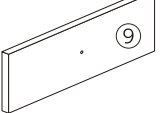
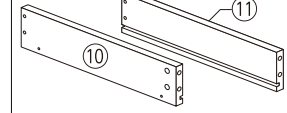
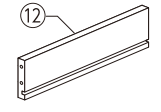
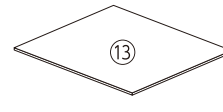
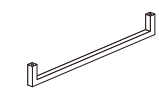
この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

品 番	組立てサイズ(cm)			耐荷重(kg)※ ¹		
	幅	奥 行	高 さ	棚板(1枚あたり)・天板	引き出し(1個あたり)	ハンガーバー
BC4017H-HR	(約)40	(約)40	(約)169	(約)20	(約)3	(約)20

※¹ 耐荷重の値は、均等に荷重をかけた場合の値です。耐荷重は測定値であり、この値を保証するものではありません。

内容明細

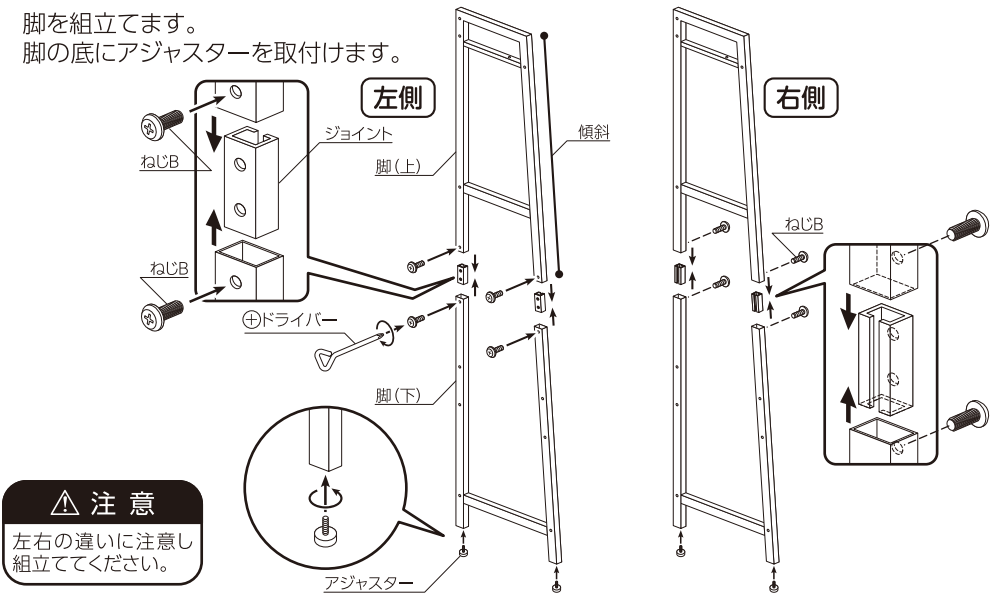
内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。

部品名	個数	部品図	部品名	個数	部品図	部品名	個数	部品図
カムロック (A1)	12		連結シャフト (A2)	12		ねじB	8	
ねじC	2		ねじD	2		スライドレール (E)	2	
ねじF	8		ねじG	6		ねじH	25	
つまみ(I)	1		ねじJ	1		木ダボ(K)	8	
背板固定具 (L)	6		アジャスター (M)	4		⊕ドライバー (N)	1	
ジョイント(O)	4		脚(上)	2		脚(下)	2	
天板	1		底板	1		側板	2	
背板	1		棚板(大)	1		棚板(小)	1	
背板(棚)	1		前板 (引き出し)	1		側板 (引き出し)	2	
向板 (引き出し)	1		底板 (引き出し)	1		ハンガーバー	1	
横バー	1							

■ 本体の組立て方

1 脚の組立て

脚を組立てます。
脚の底にアジャスターを取付けます。

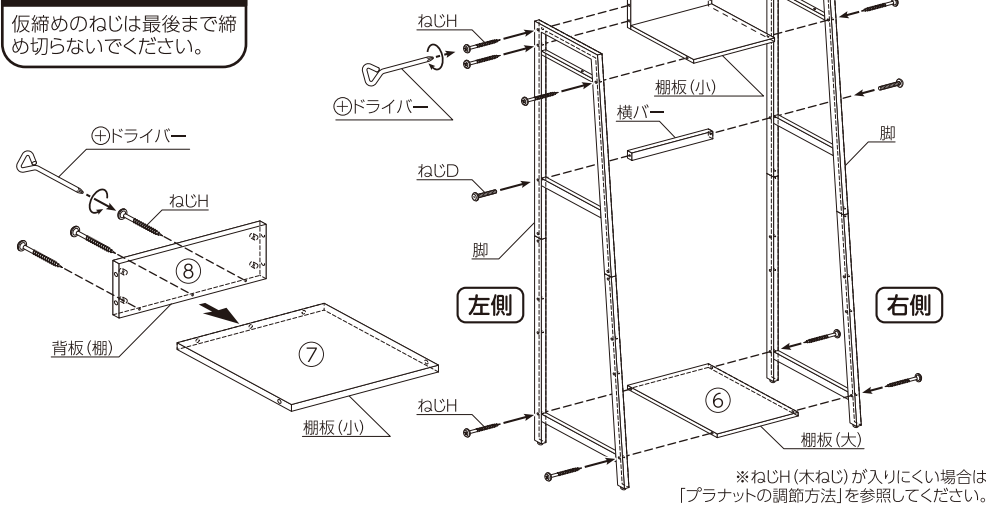


2 棚板の取付け

背板(棚)を取付けた棚板(小)と棚板(大)、横バーを脚に仮締めします。

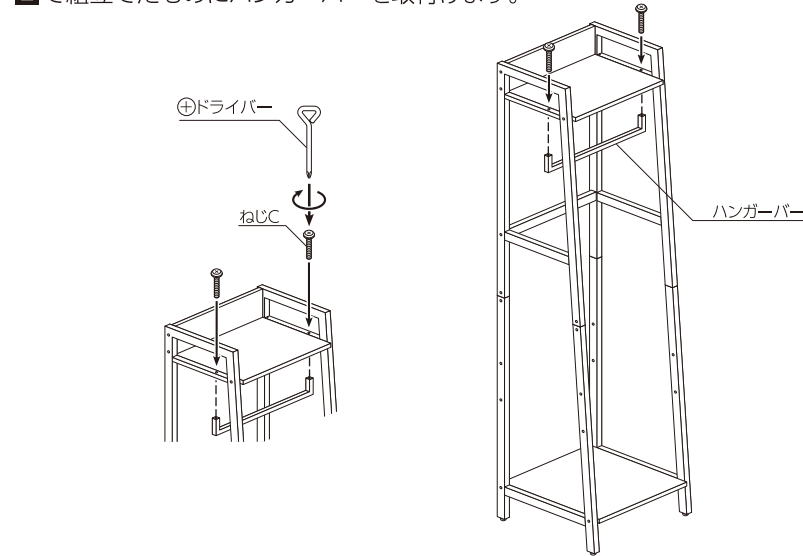
△ 注意

仮締めのねじは最後まで締め切らないでください。



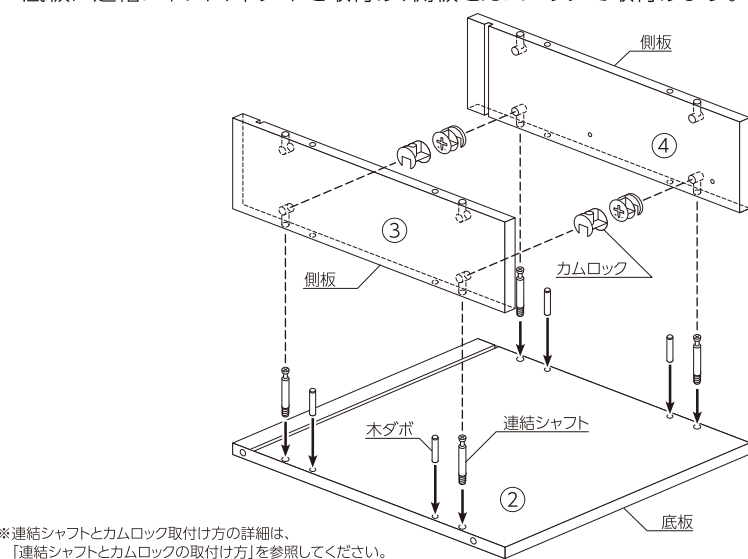
3 ハンガーバーの取付け

2で組立てたものにハンガーバーを取付けます。



4 収納箱の組立て

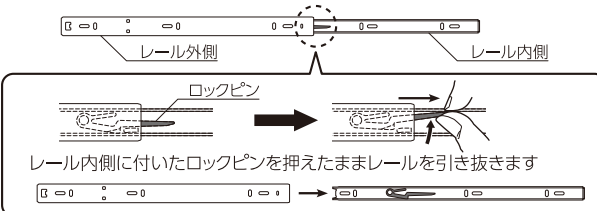
底板に連結シャフト、木ダボを取付け、側板をカムロックで取付けます。



5 スライドレールの取付け

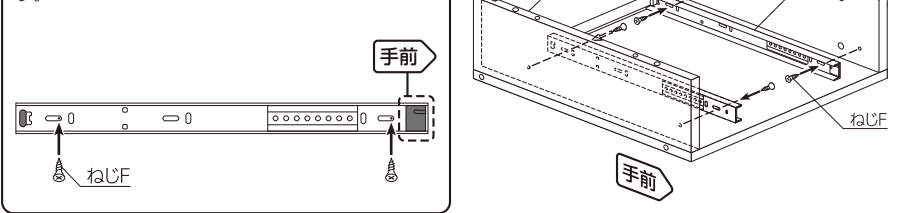
スライドレールを下図のように分離し、レール外側を4で組立てたものに取付けます。

■スライドレール分離方法



■レール外側取付け方向

下図の穴を使用し、側板の下穴にねじFで取付けます。

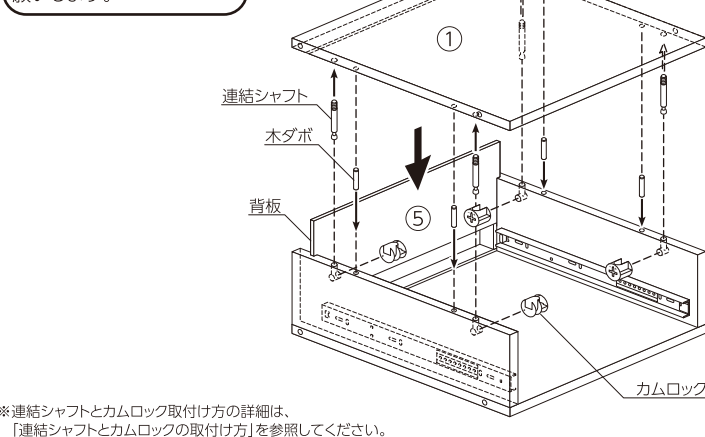


6 背板・天板の取付け

背板を取付けた後、天板を取付けます。

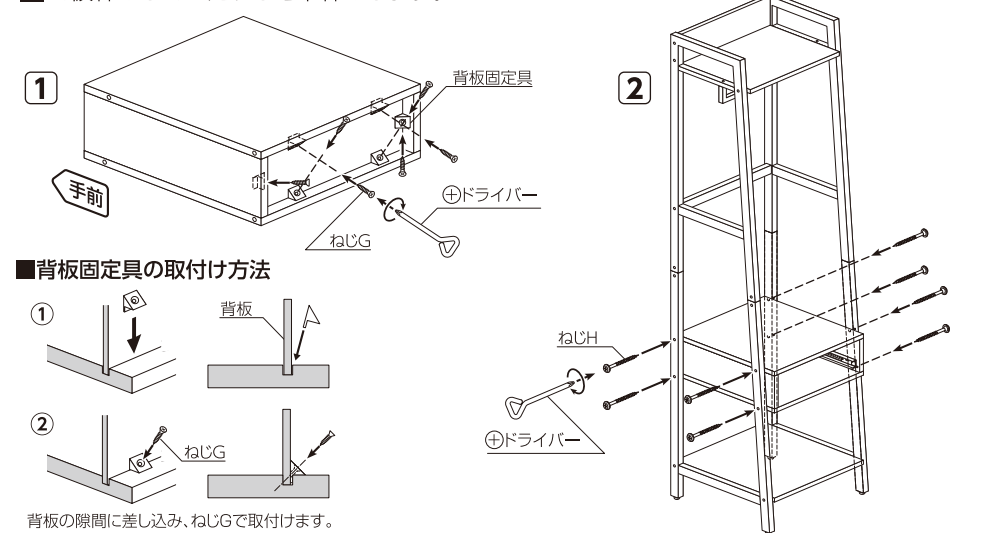
△ 注意

背板を先に取付けるようお願いいたします。



7 収納箱の取付け

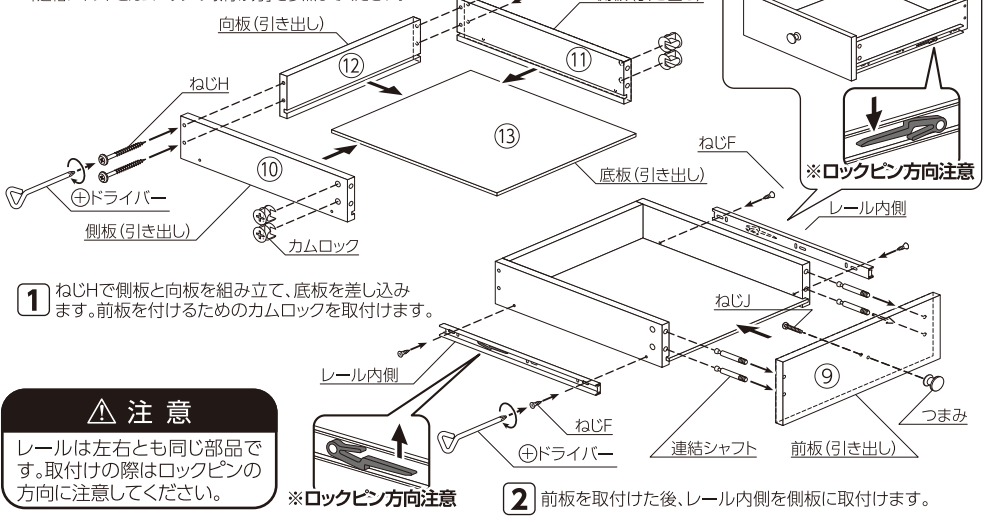
6で組立てたものの後ろに背板固定具を取付け、ねじHを使って本体に取付けます。
2で仮締めしていたねじを本締めします。



8 引き出しの組立て

引き出しを組み立てます。

※連結シャフトとカムロック取付け方の詳細は、「連結シャフトとカムロックの取付け方」を参照してください。



9 完成

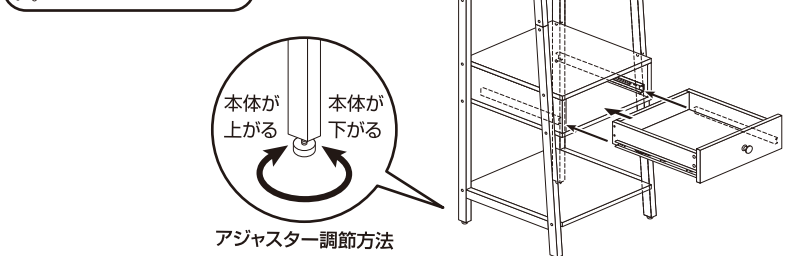
8で組立てた引き出しを本体に取付け、最後にしっかり組み立てられているか確認し完成です。

△ 注意

定期的なゆるみがないかご確認ください。

△ 注意

ガタつきがある場合は、アジャスターを回してガタつきがないように調整してください。



⚠ 注意

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「本体の組立て方」に従って正しく組立ててください。
- 組立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組立てる前に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てる時に、部品の端部などだけがをしたり、指をはさまないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室まで連絡してください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行なってください。また、床面がキズつかないようにダンボールなどを敷いて行なってください。
- 電動ドライバーなどの使用はお止めください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

- 本製品は屋内専用です。屋外での使用はお止めください。また本来の用途以外での使用はお止めください。
- 各部がしっかり組立てられていることを確認した上で使用してください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど火気の側での使用はお止めください。
- 高温多湿の場所での使用はお止めください。
- 直射日光や熱機器などの熱が当たる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面で使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんの上や畳などやわらかい床では荷重でしずんだり、設置する場所によってはへこみや跡がつくことがあります。そのような場合は、敷物や当て板を敷いて使用してください。
- クッションフロアー材（塩化ビニル樹脂）の上で使用する場合、環境（長時間同じ場所での固定・紫外線の多くあたる場所・温度の高い場所など）によっては、色移り（移行）現象によりクッションフロアー材の表面が変色する場合があります。
- 壁などとの接触を避け、少し離して（約10cm程度）使用してください。密着していると色移りして変色したり壁材が浮いてはがれたりする場合があります。
- ものをのせる時は、荷重が一点に集中しないように均等にのせてください。また、耐荷重を超えるものをのせないでください。
- 加熱したなべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなどを直接置かないでください。
- 上段に重いものをのせないでください。不安定になり転倒の原因になります。
- 本体にのぼったり、よりかかったり・座ったり・踏み台としての使用はお止めください。また、本体に手をついたり、つかまって立ち上がったたりしないでください。特に幼児や子供には注意してください。
- 本体を移動する時は、引きずらないでください。床面をキズつける原因になります。
- 本体を移動する時は、かけてあるもの、置いてあるものを全ておろしてからしっかり持って移動してください。
- 本製品に使用している材料は、ホルムアルデヒド放散量の少ないものの使用に努めていますが、においが気になる場合は、部屋の換気をしたり、風通しの良いところに置いてください。
- 使用中に、破損・変形・異音が生じた場合はただちに使用をお止めください。

●汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどい時は、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固くしぼったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。

●ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。表面のはがれや変色の原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。

●定期的に各部のゆるみを点検してください。

木ねじの下穴には木ねじ固定のためのプラナットがあらかじめ入っています。
穴軸がずれて木ねじが入らない場合は角度の調節をしてください。

木ねじ

プラナット

⊕ドライバーで角度を調節する。

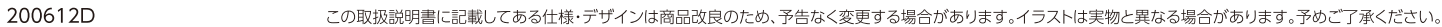
ねじ穴

十字穴の短い側をねじ穴に向ける

穴軸

ねじ穴との穴軸の角度がずれている

⊕ドライバーで角度を調節する。



Lot No,

ハンガーラック ビスカーナ40W/80W 取扱説明書

品 番	組立てサイズ(cm)			耐荷重(kg)*1	
	幅	奥 行	高 さ	棚板(1枚あたり)	ハンガーバー
BC4017-HR	(約)40	(約)40	(約)169	(約)20	(約)20
BC8017-HR	(約)80				

※1 耐荷重の値は、均等に荷重をかけた場合の値です。耐荷重は測定値であり、この値を保証するものではありません。

内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。(※横バー、ハンガーバー、棚板、背板はBC4017-HRの図です。BC8017-HRは図とは長さが異なります)

部品名	棚板(大)②	棚板(小)	背板
部品図	 ※BC8017-HRは図とは長さが異なります	 ※BC8017-HRは図とは長さが異なります	 ※BC8017-HRは図とは長さが異なります ※ねじ穴位置に違いあり
数 量	1	1	2

BC8017-10は図とは長さが異なります

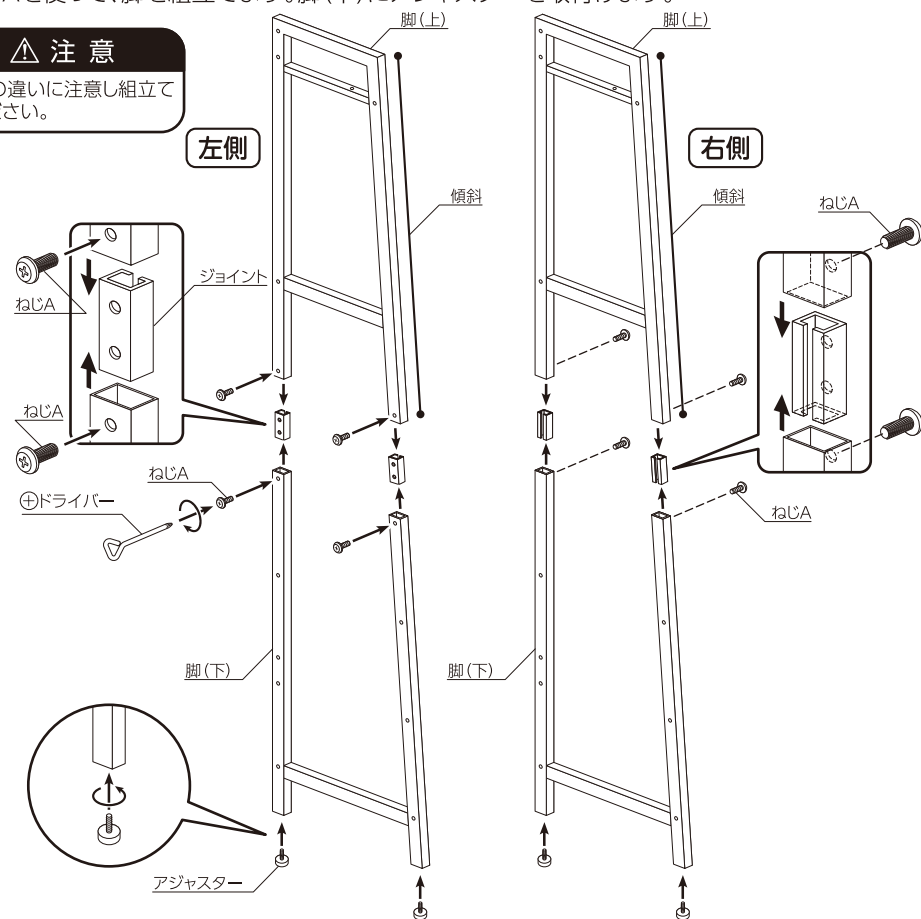
表面のねじ穴位置に違いあり

※ねじ穴位置に違いあり

1 脚の組立て

ねじAを使って、脚を組立てます。脚(下)にアジャスターを取付けます。

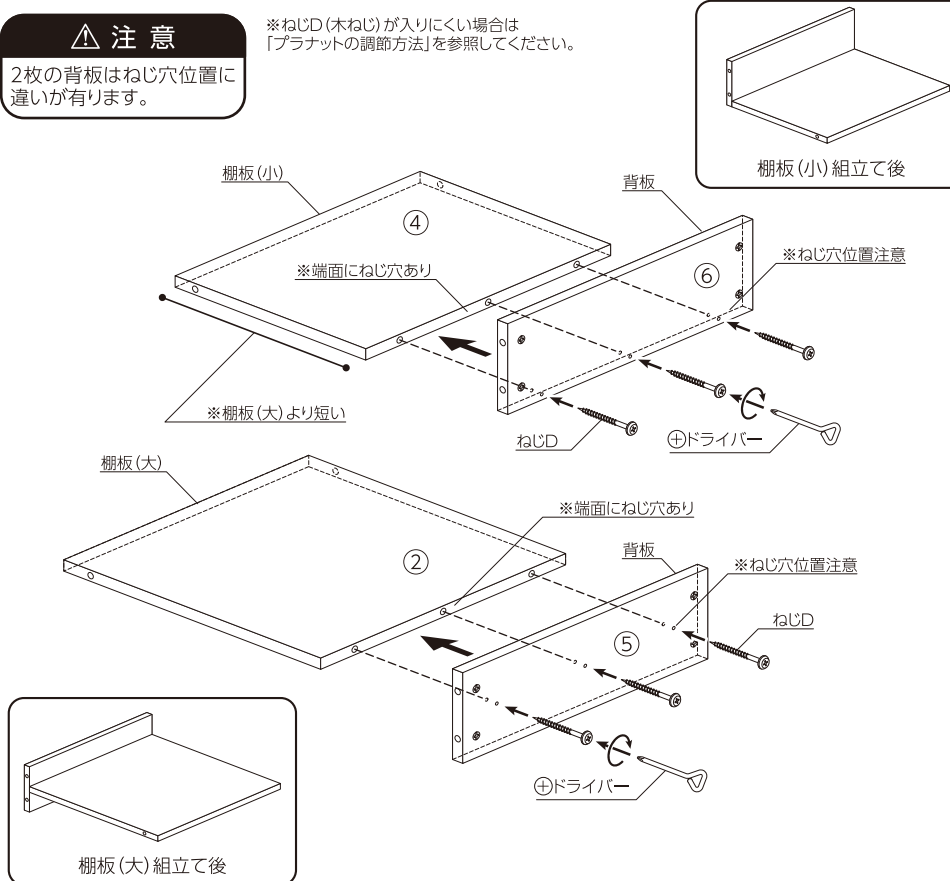
△ 注意
左右の違いに注意し組立ててください。



2 棚板の組立て

棚板(小)と棚板(大)にねじDで背板を取付けます。

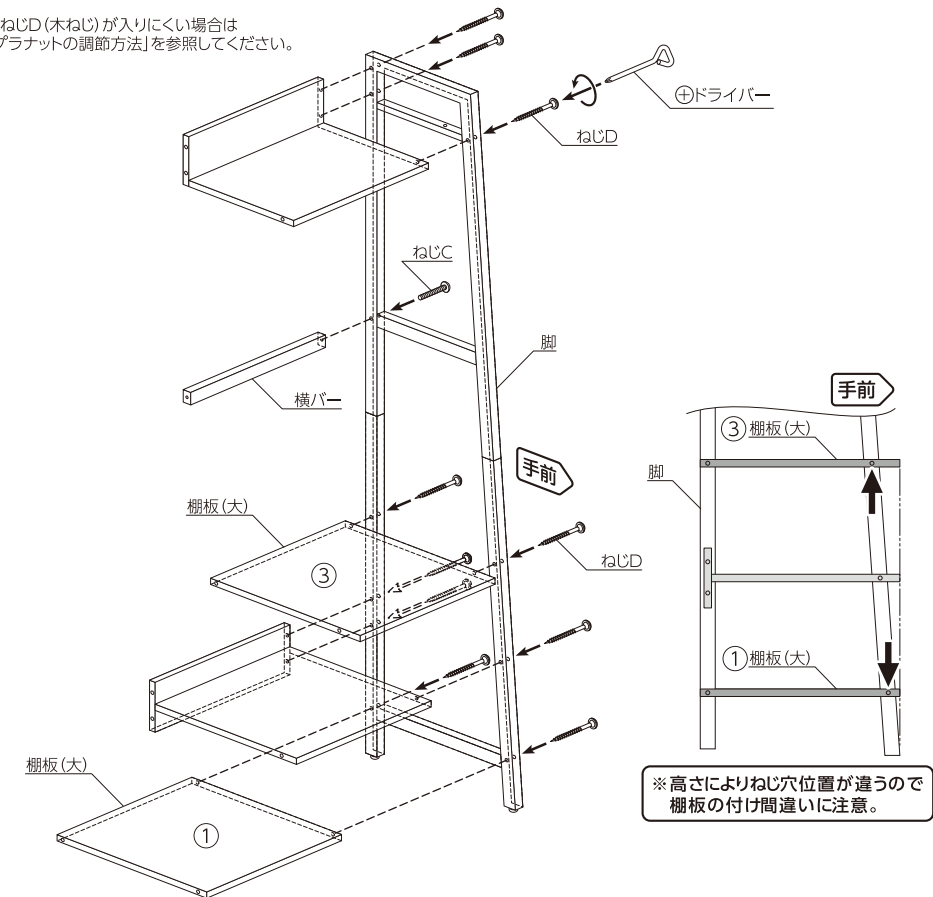
△ 注意
2枚の背板はねじ穴位置に違いがあります。



3 棚板・横バーの取付け

2で組立てたものと、棚板(大)、横バーを脚の右側に取付けます。

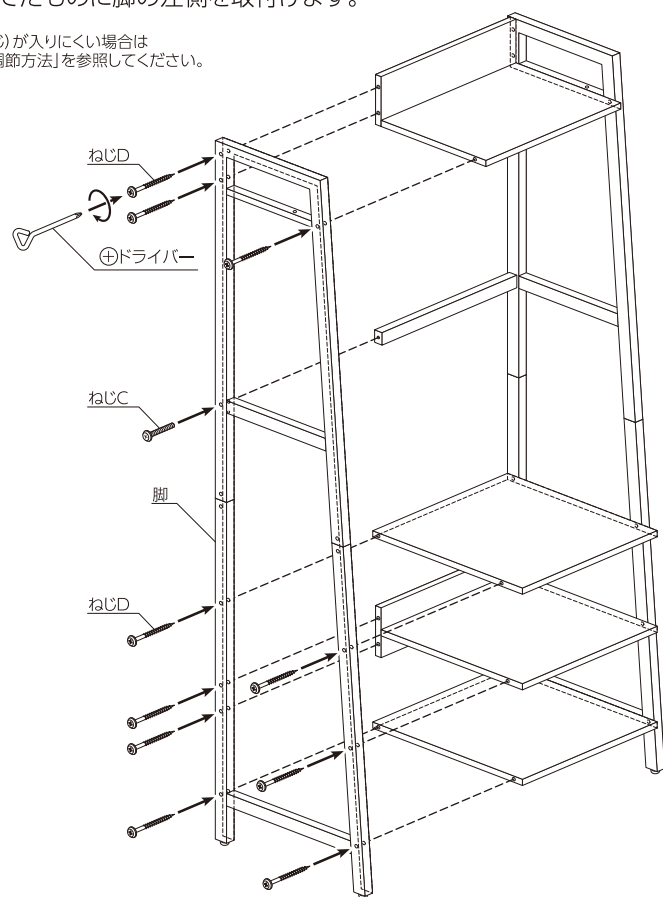
※ねじD(木ねじ)が入りにくい場合は「プラナットの調節方法」を参照してください。



4 脚の取付け

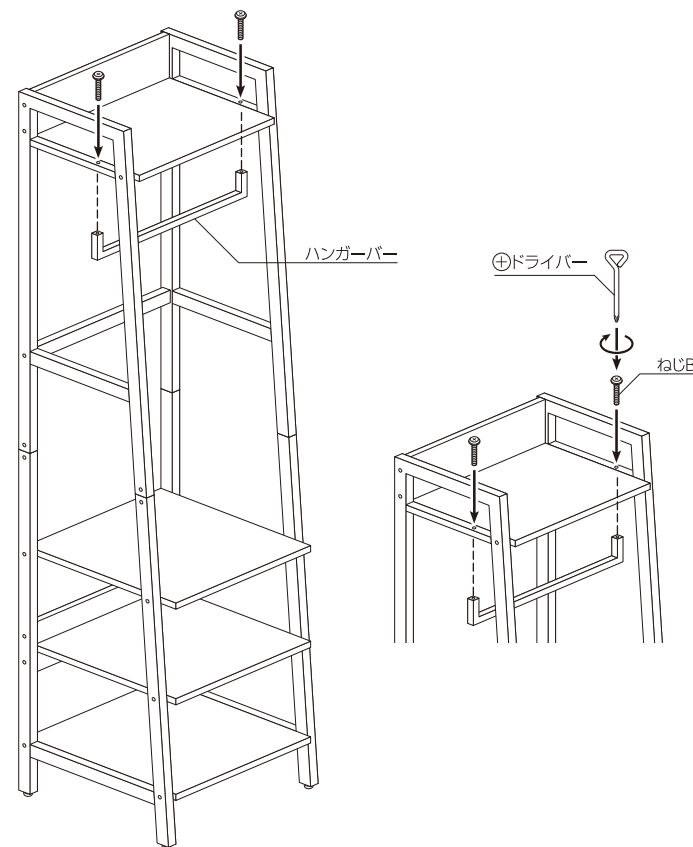
3で組立てたものに脚の左側を取付けます。

※ねじD(木ねじ)が入りにくい場合は「プラナットの調節方法」を参照してください。



5 ハンガーバーの取付け

ハンガーバーを取付けます。

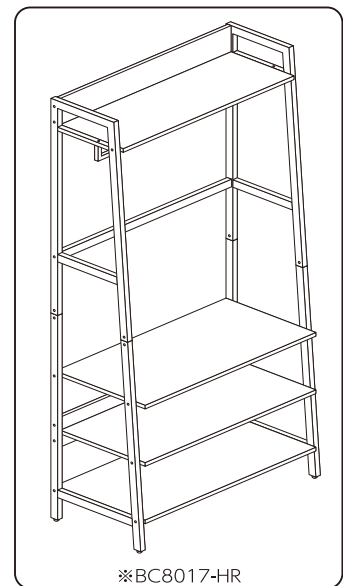
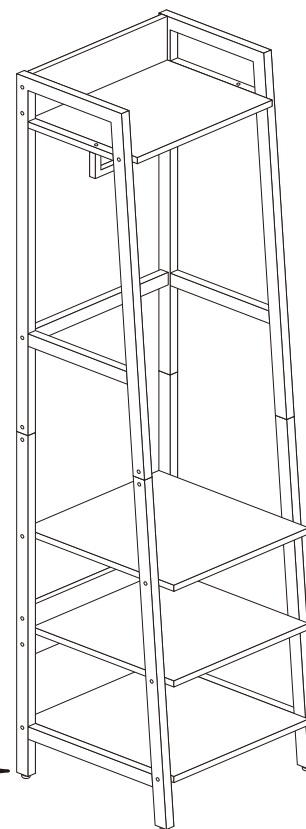
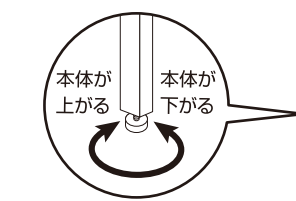


6 完成

しっかり組立てられているか確認して完成です。

△ 注意
定期的にはゆるみがないかご確認ください。

△ 注意
ガタつきがある場合は、アジャスターを回してガタつきがないように調整してください。



※BC8017-HR